

膵癌患者における術後補助化学療法の導入困難予測因子についての研究

■ 研究の対象となる方

2015年4月～2020年6月に当院で膵癌治療を受けられた方

■ 目的・方法

膵癌は消化器癌のなかで最も予後不良な癌です。根治が期待できるのは外科切除のみですが、切除後も過半数の患者さんで再発を認め、命に関わります。術後補助化学療法はその切除後予後を改善しうる治療法ですが、患者さんの年齢や、術後の回復経過などにより、全症例での導入は困難であるのが現状です。もし術後化学療法導入が困難となる因子を同定することができ、その導入率を改善することができれば、膵癌患者の予後改善に寄与できる可能性があります。そこで今回、術後補助化学療法導入が困難となる因子の同定を目的として研究を行います。

■ 実施期間

2021年10月21日～2023年3月31日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、血液検査結果、画像データ、手術の記録など診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 外科 主任医員 中尾陽佑（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
------------	--

以上